

2020年11月25日

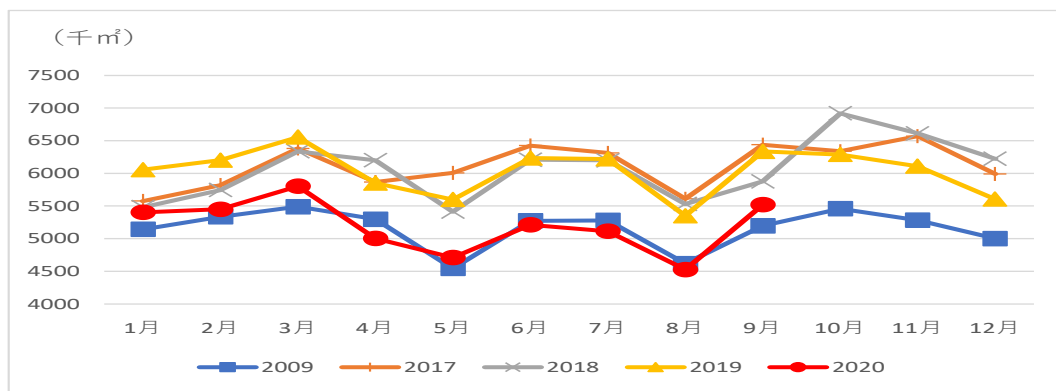
令和2年 木質資源安定供給検討会 情報

日本繊維板工業会

専務理事 長谷川賢司

1 パーティクルボードの需給について

【経産省 建材統計】



生産量(面積ベース)の過去3年および2009年(リーマンショック年)月次比較

昨年までの3年間は105~109万 m³/年で推移したが、今年是对前年同月比82~89%

工場数は、一昨年は1社1工場が廃業、昨年は1工場が閉鎖、現在、国内では現在10社12工場。来年、1工場新設予定。 ※パーティクルボードの密度は0.7~0.8なので、製品ベースで80万トンの原料チップが使われている。

2 パーティクルボードの原料チップについて

【日本繊維板工業会調査】

チップ由来	小径木丸太	合板 製材端材	間伐材 林地残材	建築解体材	被災木材	
2017年	1.9	12.2	1.5	77.5	6.8	(%)
2018年	1.9	10.2	1.9	78.7	7.2	
2019年	1.8	2.2	1.5	83.0	11.4	

会員8社11工場の調査

※合板・製材端材が激減(一社の退会)

災害による被災木材は増加

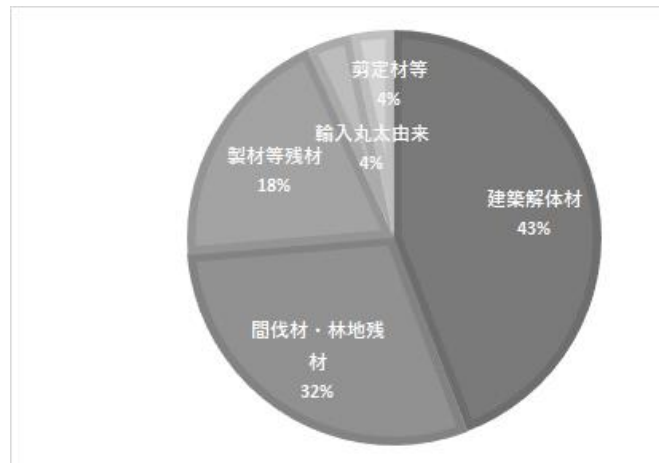
3 「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」 【林野庁、e-Stat（政府統計）】

建築解体木材を中心にまとめた。

木材チップ計 942 万絶乾トンで
対前年比 101.3%、建築解体木材は
403 万絶乾トンで 98.9%。【2019 年
(速報)より】

調査対象:1514 事業所

回答 :1437 事業所



【2018 年(確報)】

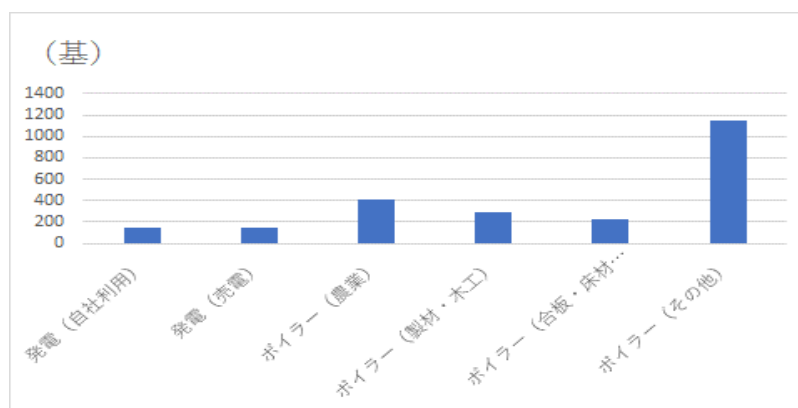
調査対象:1484 事業所

回答 : 1425 事業所

用途別の使用は、発電機のみが 531 万絶乾トン、発電機・ボイラーが 276 万絶乾トン、ボイラーのみは 123 万絶乾トン。

木質バイオマス発電機の数 は 290 基で「自社等での利用」が 141 基、「売電」が 147 基（うち FIT は 135 基）、熱電併給を行う発電機は 109 基

ボイラーの数は 2,064 基あるが、用途は「暖房のみ」が 732 基、「給湯」が 402 基、「木材の乾燥」は 366 基と、農業や学校や施設、製材・木工業等の小規模設備が多い。



建築資材廃棄物の都道府県別利用量

出展:e-Stat【政府統計調査総合窓口】 2018年確報

木質バイオマスエネルギー利用動向調査（絶乾トン／年）

